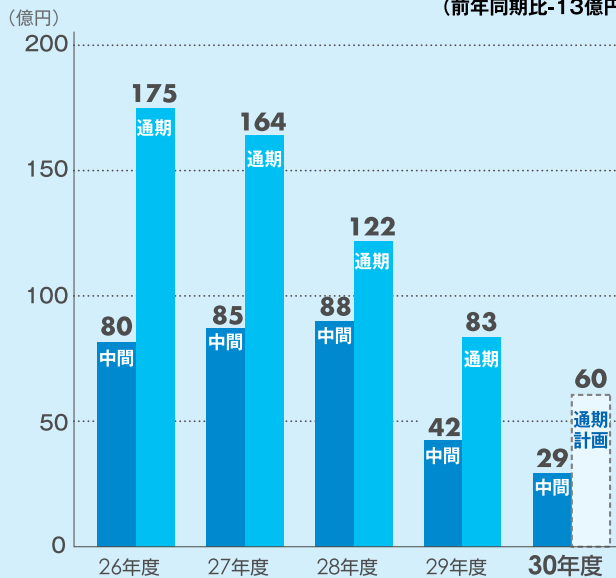


池田泉州ホールディングス 決算レポート

業績 High Light (平成30年度 中間期)

純利益*

29億円
(前年同期比-13億円)



※池田泉州ホールディングス連結 親会社株主に帰属する純利益

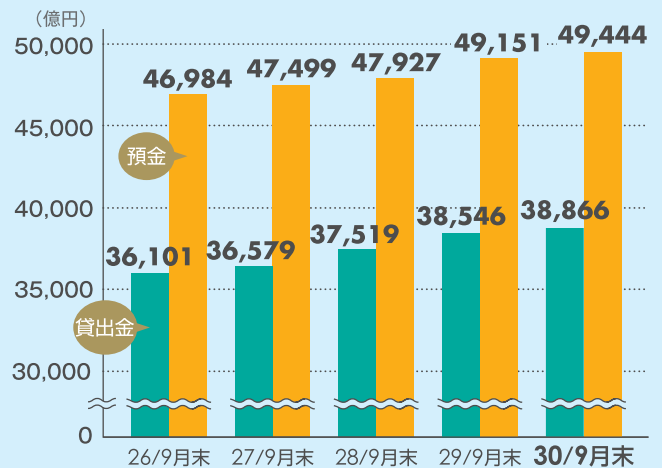
・有価証券投資の抑制、抜本的な経費の削減により、一定の本業利益(お客さまから得られる利益)をあげられる体質への転換を目指す中、中間期は計画(25億円)を上回る利益を達成。引き続き、役務収益の増強、経費削減に努め、通期では60億円の利益計上を目指す。

貸出金*

3兆8,866億円
(前年同期比+320億円)

預金*

4兆9,444億円
(前年同期比+293億円)



※池田泉州銀行単体

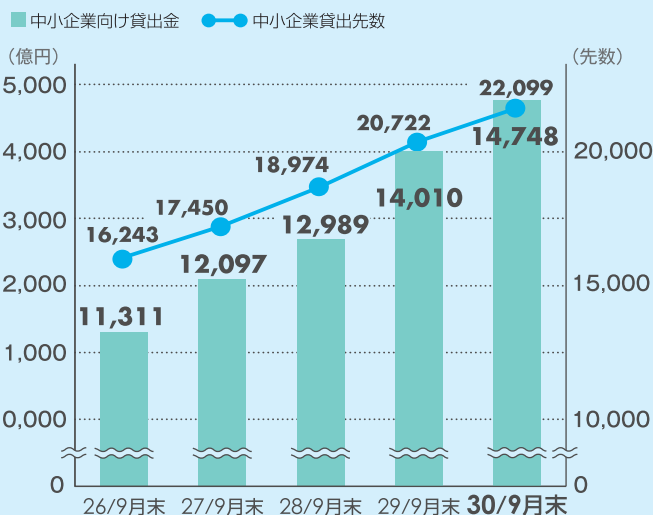
・地元中小企業貸出を中心に、貸出金は年間+320億円(年率0.8%)増加
・流動性預金を中心に預金は年間+293億円(年率0.6%)増加

中小企業貸出先数*

22,099先
(前年同期比+1,377先)

中小企業向け貸出金*

1兆4,748億円
(前年同期比+738億円)

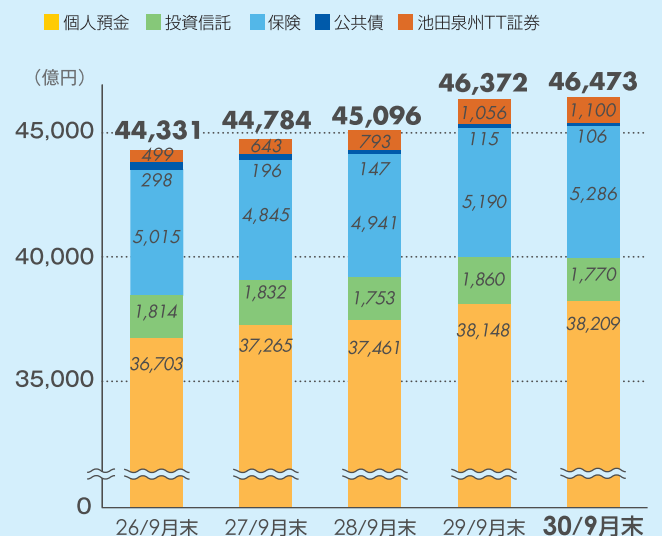


※池田泉州銀行単体

・貸出先への複合的な提案・課題解決に注力、中小企業向け貸出の先数は年間+1,377先(年率6.6%)増加、残高は年間+738億円(年率5.3%)増加

個人総預り資産残高

4兆6,473億円
(前年同期比+101億円)



・「お客さま本位の業務運営」を推し進めた結果、保険や個人預金、池田泉州TT証券の預り資産が増加
グループ全体の「個人総預り資産」残高は年間+101億円(年率0.2%)増加

株主還元

●安定配当を継続

- ・年間15円配当を実施(中間配当7.5円)
- ・配当利回り3.93%(平成30年9月末日株価381円)

●充実した株主優待制度をご用意

- ・地域ブランド発信の想いを込め、様々な地域特産品をラインナップ

池田泉州ホールディングス ニュース

池田泉州ホールディングスグループでは、日々の活動をニュースリリースという形で、皆さまに広くお知らせしております。ここでは当社グループのニュースリリースについて、主なものをご紹介します。ニュースリリースについては、ホームページ (<http://www.sihd-bk.jp/>) にも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

〈ニュースリリースの内訳(平成30年4月1日～平成30年10月31日)〉

	法人のお客さまへ	個人のお客さまへ	その他含む合計	うち地域創生に関するもの
新商品・新サービス等制度のご案内	1	6	7	1
産学官連携等のご案内	8	7	18	12
新店舗・決算関係等のご案内	3	1	26	2
		合計	51	15

【地域創生】地元企業と若年者等のマッチングを支援「さかいジョブマッチ交流会」を開催！～池田泉州銀行×堺市 産業振興連携協定事業～

本年9月、池田泉州銀行は堺市と連携し、「さかいジョブマッチ交流会」を開催しました。

当行では、堺市との産業振興連携協定に基づく事業として、平成24年から合同企業説明会を開催してきましたが、今回は、これまでの出展企業が求職者に対してPRをする「説明会」形式から、よりコミュニケーションを深めてもらう為の試みとして、企業と求職者が対話できる「交流会」形式に変更、本交流会には、2日間で、堺市の地元企業を中心とした企業32社に参加いただきました。

また、求職者の方に地元企業への親しみをより感じていただくため、事前に地元企業・出展企業を取材した大学生が、魅力を紹介するイベントなども併せて行いました。



近畿地銀初！ホーチミン駐在員事務所の開設について

本年11月、池田泉州銀行はベトナムのホーチミンに駐在員事務所を開設いたしました。

昨今、ASEANへの進出を検討している企業は増加しておりますが、中でもベトナムへの進出ニーズはここ数年顕著となっております。当行はこれまで、ベトナム銀行やHDバンクと提携し、ベトナム現地情報・投資環境情報等の提供や外国為替等の現地金融サービスのご紹介などお取引先のベトナムビジネスを応援してきましたが、今般のホーチミン駐在員事務所開設により、より充実したサービスを提供することが可能になります。

ホーチミン駐在員事務所は、中国の蘇州駐在員事務所に次ぐ、2番目の海外拠点となり、提携する海外現地銀行12行を含め、当行の海外ネットワークは一層充実いたします。

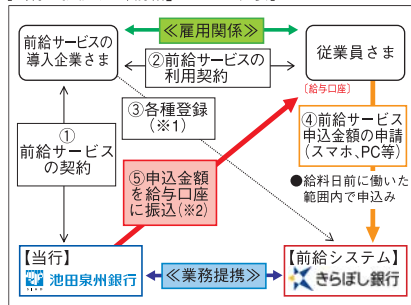


株式会社きらぼし銀行との「前給」サービスに係る業務連携に関する覚書締結について

池田泉州銀行は地域金融サービスの拡充を目的として、株式会社きらぼし銀行と「前給」サービスに係る業務連携に関する覚書を締結しました。平成31年1月を目途に「前給」サービス(※)の提供を開始し、深刻化する企業の人材不足解消のお手伝いをいたします。

なお、きらぼし銀行との提携により「前給」サービスを直接お客さまに対して提供する金融機関は、当行が初めてとなります。

【当行が提供する「前給」スキーム概要】



(※)「前給」サービスについて
事業会社の従業員の皆さまの給料日前の資金ニーズに応えることができる有料のサービスで、働いた範囲内で給料日前にお金を受け取ることができる制度です。従業員の方は、勤務先の事業会社が当行と契約していれば、従業員の方の申込みにより最短で翌営業日に給与振込口座宛に資金が振り込まれます(当行に口座がなくても、現在の給与受取口座で受取可能です)。

(※1)従業員さまへの振込に必要なデータ、従業員さまの勤怠実績登録
(※2)当行とお取引がなくても現在の給与受取口座で受取可能

【全国初】京大オリジナル株式会社と業務提携開始！～京都大学の「知」と地元企業をマッチング～

本年9月、池田泉州銀行は、京大オリジナル株式会社(以下「京大オリジナル」)と、地域経済発展のお役に立つことを目的として、業務提携契約を締結しました。

京大オリジナルは、京都大学の「知」を産業界・社会につなげる役割を担うべく、文部科学省から指定を受けた「指定国立大学法人」のみが設立可能な子会社として全国で初めて、同大学により設立された法人で、「京大モデル」として、高度な研究成果を社会に導出することを目的としています。当行は、本契約締結により、地元中小・中堅企業の新事業創出や幹部人材養成等の課題解決へのサポートを強化いたします。なお、京大オリジナルと金融機関との業務提携は、全国で初めてとなります。

【スキーム図】

